

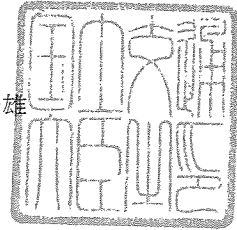
認定書

国住指第3045号
平成 18年 3月 30日

社団法人日本シャッター・ドア協会
会長 岩部 金吾 様

社団法人日本サッシ協会
理事長 要明 英雄 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法施行令第112条第14項第二号(防火設備の作動性能等)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

CAS-0257

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

鋼製シャッター・鋼製開き戸／複合防火設備(準耐火構造壁・床付き)

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名：

鋼製シャッター・鋼製開き戸／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

2. 構成：

本申請に係る仕様の構成等は、以下の通りとする。

- (1) 鋼製シャッター、鋼製開き戸及びエレベーター乗り場戸は、建築基準法第2条第九号の二に規定する防火設備又は建築基準法施行令第112条第1項に規定する特定防火設備特定防火設備とする（遮炎性）
- (2) 鋼製シャッターは、昭和48年建設省告示第2564号に該当する構造とする（遮煙性及び挟まれ防止性能）。
- (3) 壁及び床は準耐火構造とする。
- (4) 鋼製シャッターは連装可とする。
- (5) 鋼製シャッター間、鋼製開き戸間、鋼製シャッターと鋼製開き戸間は、準耐火構造の壁、厚さ0.8mm以上の鋼板製の方立て（中柱・可動式中柱を含む）又は袖レールとする。
- (6) 鋼製開き戸は、90度、180度開き及び任意角開きを含む。
- (7) 当仕様を構成する空間の内装の仕上げは準不燃材料とする。
- (8) 当仕様を構成する空間の幅は昇降路の幅に、柱、はり、パイプスペース等平面計画上必要とするものを加えた最小限の幅とする。
- (9) 当仕様を構成する空間の奥行きは、可動の乗降の空間の場合で1m以内、対面式のエレベーターのあるロビーの場合で6m以内、前記以外の場合で4.5m以内とする。
- (10) エレベーター1列の台数は、6台までとする。
- (11) 鋼製シャッター及び鋼製開き戸が作動した後も乗降ロビーより外部へ出られるような避難口を1箇所以上設置する。
- (12) 上記(11)の避難口は、避難方向に開くものとする。
- (13) 煙感知器は、消防法（昭和23年法律第183号）第21条の2第1項の規定による検定に合格したのものとする。
- (14) 連動制御器は、以下の要件を満足するものとする。
 - (1) 煙感知器又は熱煙複合式感知器から信号を受けた場合に自動閉鎖装置に起動指示を与えるもので、随時、制御の監視ができるもの。
 - (2) 火災による熱により機能に支障をきたすおそれがなく、かつ、維持管理が容易に行えるもの
 - (3) 連動制御器に用いる電気配線及び電線が、次に定めるものであるもの。
 - (i) 昭和45年建設省告示第1829号第二号及び第三号に定める基準によるもの。
 - (ii) 常用の電源の電気配線は、他の電気回路(電源に接続する部分及び消防法施行令(昭和36年政令第37号)第7条第3項第一号に規定する自動火災報知設備の中継器又は受信機に接続する部分を除く。)に接続しないもので、かつ、配電盤又は分電盤の階別主開閉器の電源側で分岐しているもの。
- (15) 自動閉鎖装置は、以下の要件を満足するものとする。
 - (1) 連動制御器から起動指示を受けた場合に鋼製開き戸を自動的に閉鎖させるもの。
 - (2) 自動閉鎖装置に用いる電気配線及び電線が、上記(14)の(3)に定めるものであるもの。
- (16) 予備電源は、昭和45年建設省告示第1829号第四号に定める基準によるものであること。
- (17) 本仕様に用いられる気密材については、使用頻度等により所要の性能が損なわれる恐れがある為、十分維持保全を行うものとする。
- (18) 当該防火設備内に物品が置かれると、所要の性能が損なわれる恐れがある為、十分維持管理を行うものとする。

申請仕様の空間構成の代表例を図1～5に示す。

設置場所(1) - 1) 常時に空間(乗場戸から1m程度)を形成する場合

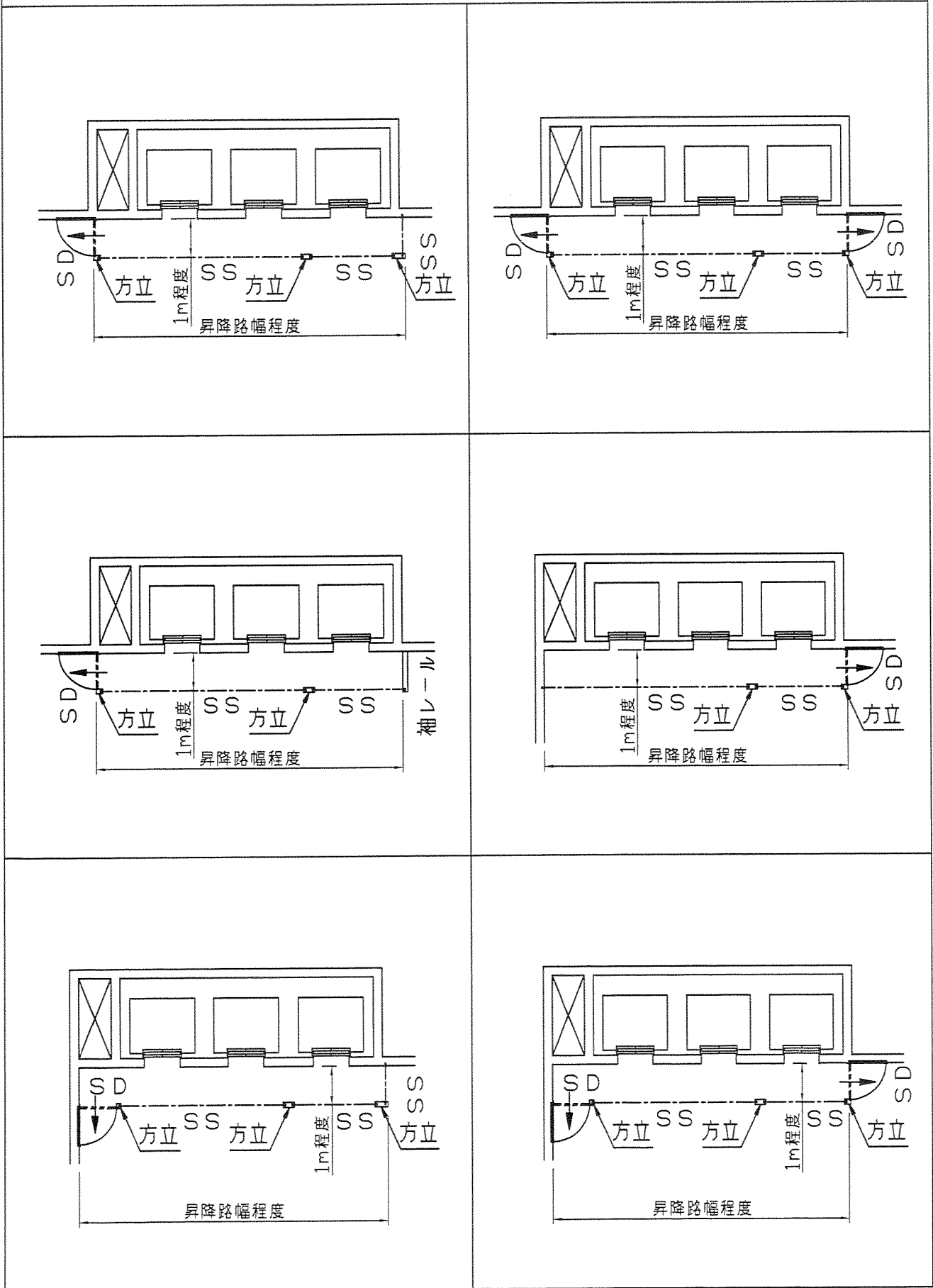
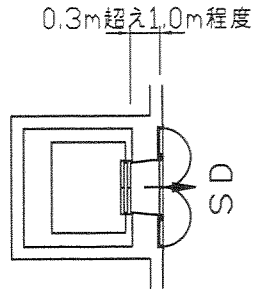
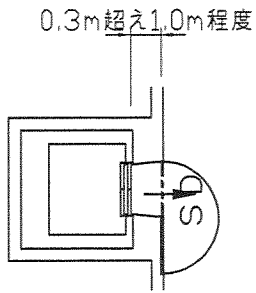


図1 空間配置図

設置場所 (1) - 2 非常時に空間 (乗場戸から0.3 m 超え) を形成する場合



設置場所 (2) - 1 乗降ロビーを設ける場合 (乗場戸の正面に防火設備)

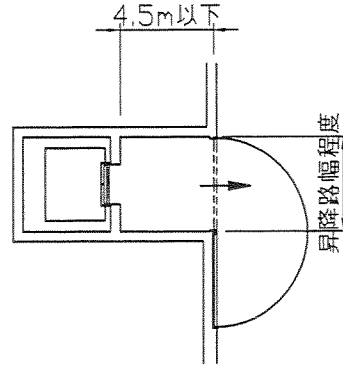
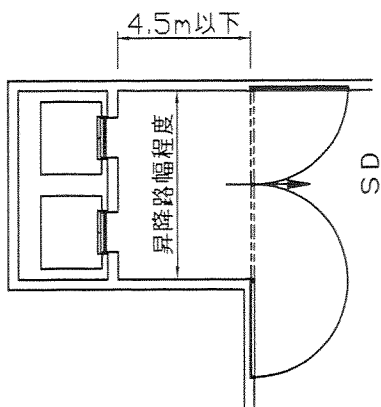
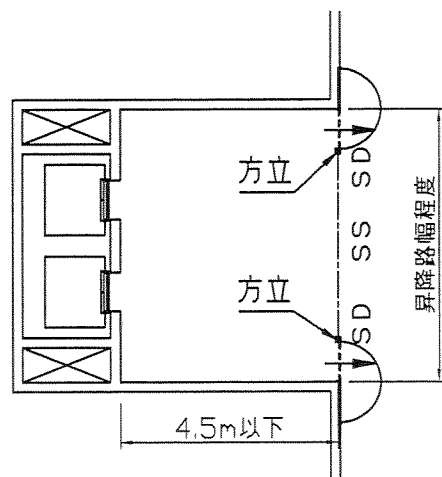
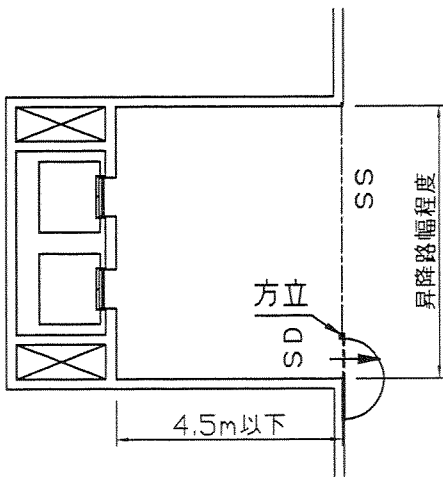
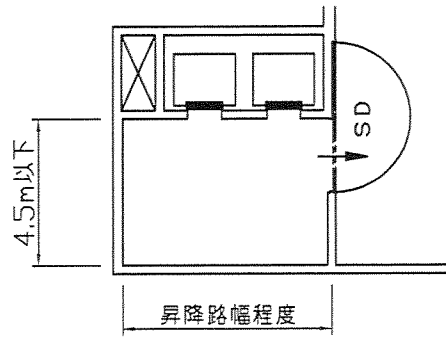
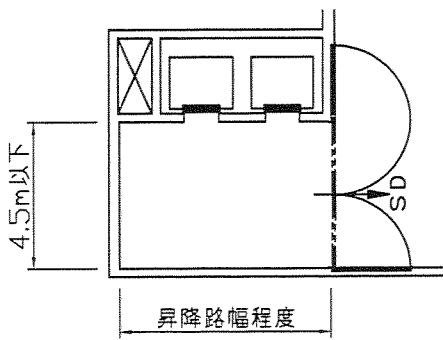
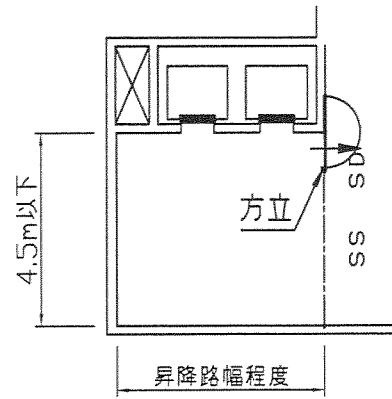
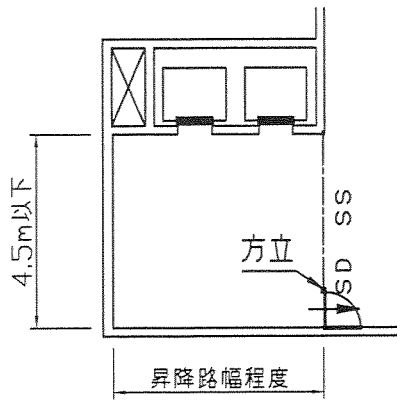


図2 空間配置図

設置場所 (2) - 2 乗降ロビーを設ける場合 (エレベーター 一列、防火設備 片側)



設置場所 (2) - 3 乗降ロビーを設ける場合 (エレベーター 一列、防火設備 両側)

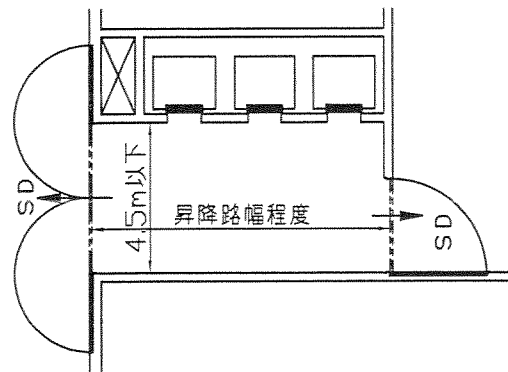
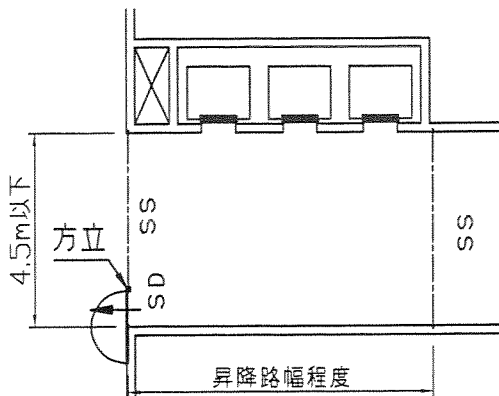
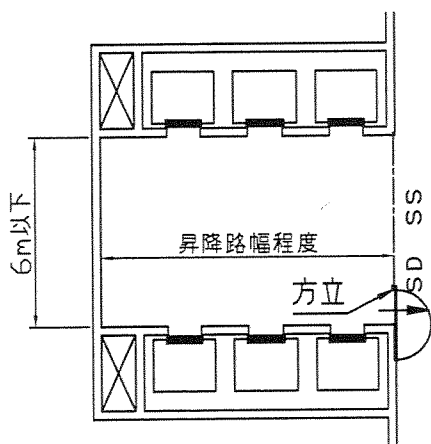
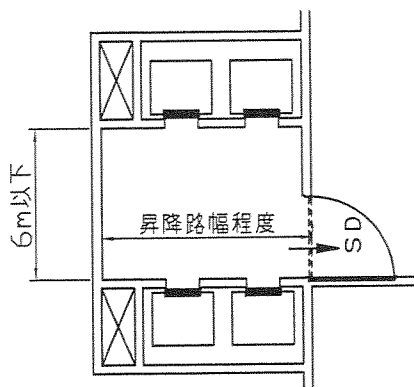
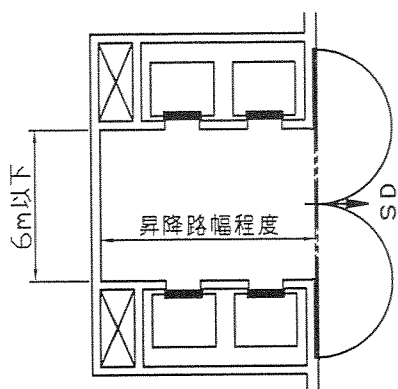


図3 空間配置図

設置場所 (2) - 4 乗降ロビーを設ける場合 (エレベーター 対面、防火設備 片側)



設置場所 (2) - 5 乗降ロビーを設ける場合 (エレベーター 対面、防火設備 両側)

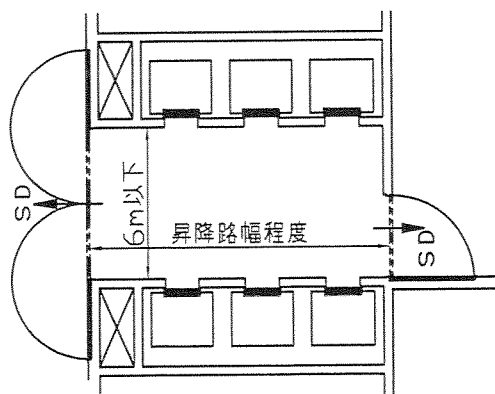
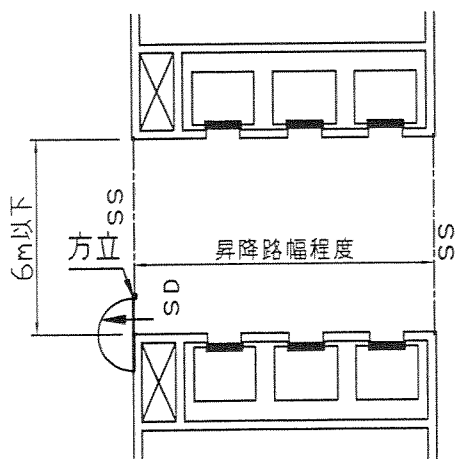
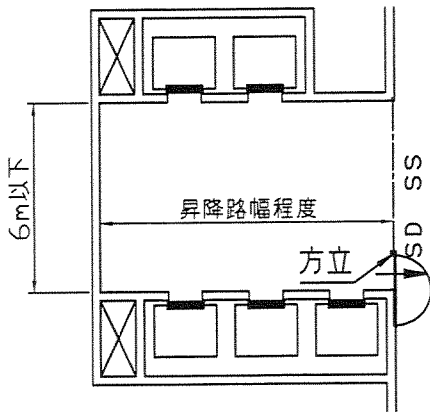
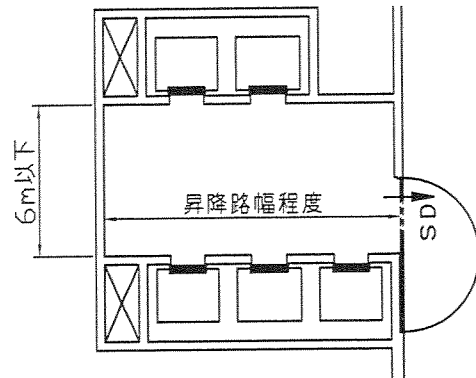
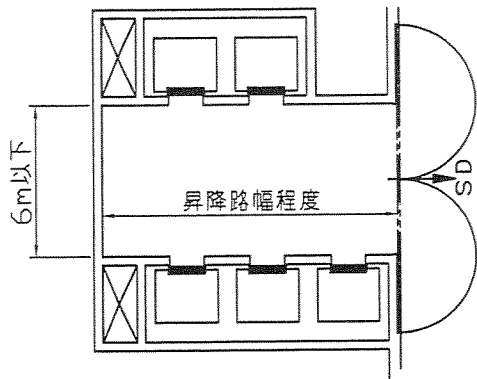


図4 空間配置図

設置場所 (2) - 6 乗降ロビーを設ける場合 (Iバ-ター 対面2、防火設備 片側)



設置場所 (2) - 7 乗降ロビーを設ける場合 (Iバ-ター 対面2、防火設備 両側)

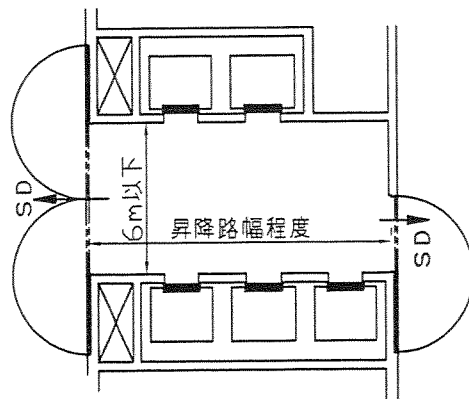
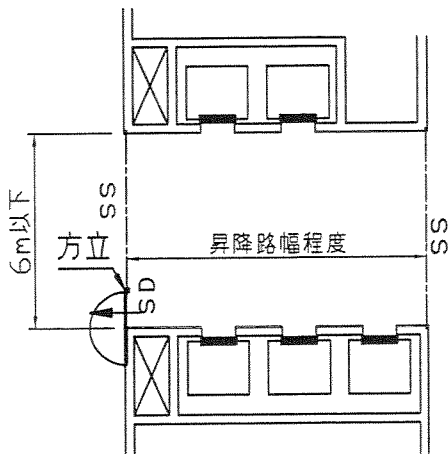


図5 空間配置図

3. 鋼製開き戸部の寸法：

申請仕様の鋼製開き戸は、開き戸とし、その寸法を表1～3に、仕様を表4～6に示す。

表1 申請仕様の鋼製開き戸部の寸法（常時閉鎖の場合）

（単位：mm）

項 目		申 請 仕 様	
		片開き	両開き
扉幅	(DW)	773～1,423	759～1,409
扉厚	(DT)	40以上	40以上
開口幅	(W)	750～1,400	1,500～2,800
戸枠幅	(WW)	830以上	1,580以上
扉高さ	(DH)	1,802～3,752	1,802～3,752
開口高さ	(H)	1,800～3,750	1,800～3,750
戸枠高さ	(HH)	1,840以上	1,840以上
枠見込み寸法	(w)	80以上	80以上
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法（モルタル等）	
	(三方)	湿式工法（モルタル等） 乾式工法（繊維混入けい酸カルシウム板等）	

表2 申請仕様の鋼製開き戸部の寸法（随時閉鎖の場合）

（単位：mm）

項 目		申 請 仕 様	
		片開き	両開き
扉幅	(DW)	836～1,486	821～1,471
扉厚	(DT)	40以上	55以上
開口幅	(W)	750～1,400	1,500～2,800
戸枠幅	(WW)	919～1,569	1,748～3,048
扉高さ	(DH)	2,000～5,003	2,000～5,003
開口高さ	(H)	2,000～5,003	2,000～5,003
戸枠高さ	(HH)	2,040以上	2,040以上
枠見込み寸法	(w)	80以上	100以上
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法（モルタル等）	
	(三方)	湿式工法（モルタル等） 乾式工法（繊維混入けい酸カルシウム板等）	

表3 申請仕様の鋼製開き戸部の寸法（随時閉鎖の場合、避難用子扉付き）（単位：mm）

項 目		申 請 仕 様	
		片開き	両開き
扉幅	(DW)	1,034～3,084	1,021～3,071
扉厚	(DT)	55以上	55以上
開口幅	(W)	950～3,000	1,900～6,000
戸枠幅	(WW)	1,119～3,169	2,148～6,248
扉高さ	(DH)	2,000～5,003	2,000～5,003
開口高さ	(H)	2,000～5,003	2,000～5,003
戸枠高さ	(HH)	2,040以上	2,040以上
枠見込み寸法	(w)	100以上	100以上
避難用子扉の開口幅 (EW)		750以上	750以上
避難用子扉の開口高さ (EH)		1,800以上	1,800以上
避難用子扉の扉幅 (EDW)		826以上	826以上
避難用子扉の扉高さ (EDH)		1,801以上	1,801以上
避難用子扉の扉厚 (EDT)		40以上	40以上
周壁部の仕様		(下部)	湿式工法（モルタル等）
		(三方)	湿式工法（モルタル等） 乾式工法（繊維混入けい酸カルシウム板等）

表4 申請仕様の鋼製開き戸部の仕様（ドアクローザーの場合）

扉幅 DW	扉高さ DH	ドア質量	閉鎖角速度	閉鎖金物 設定トルク
773～923mm	1803～2503mm	93kg以下	0.503 1/s 以下	73.5N・m以下
924～1073mm	1803～2403mm	103kg以下	0.410 1/s 以下	73.5N・m以下

表5 申請仕様の鋼製開き戸部の仕様（フロアヒンジの場合）

扉幅 DW	扉高さ DH	ドア質量	閉鎖角速度	閉鎖金物 設定トルク
773～973mm	1803～3003mm	78kg以下	0.262 1/s 以下	100.0N・m以下
974～1073mm	1803～3003mm	129kg以下	0.262 1/s 以下	100.0N・m以下
1074～1223mm	1803～3003mm	147kg以下	0.224 1/s 以下	100.0N・m以下
1224～1523mm	1804～3003mm	183kg以下	0.196 1/s 以下	100.0N・m以下
1524～1623mm	1804～3003mm	195kg以下	0.174 1/s 以下	100.0N・m以下
1624～2223mm	1804～3003mm	267kg以下	0.121 1/s 以下	100.0N・m以下
2224～3023mm	1804～2403mm	291kg以下	0.083 1/s 以下	100.0N・m以下
2224～3023mm	2404～3003mm	363kg以下	0.075 1/s 以下	100.0N・m以下

表6 申請仕様の鋼製開き戸部の仕様（ヒンジクローザーの場合）

扉幅 DW	扉高さ DH	ドア質量	閉鎖角速度	閉鎖金物 設定トルク
773～1223mm	1803～3003mm	147kg以下	0.314 1/s 以下	49.7N・m以下
836～1223mm	3004～5003mm	245kg以下	0.224 1/s 以下	125.4N・m以下
1224～1623mm	1804～3003mm	195kg以下	0.196 1/s 以下	70.0N・m以下
1224～1623mm	3004～4003mm	250kg以下	0.157 1/s 以下	125.4N・m以下
1224～1623mm	4004～5003mm	325kg以下	0.121 1/s 以下	125.4N・m以下
1624～1823mm	1804～3003mm	219kg以下	0.157 1/s 以下	81.5N・m以下
1624～1823mm	3004～5003mm	365kg以下	0.121 1/s 以下	125.4N・m以下
1824～2223mm	1804～3003mm	267kg以下	0.121 1/s 以下	81.5N・m以下
1824～2223mm	3004～5003mm	445kg以下	0.092 1/s 以下	125.4N・m以下
2224～2623mm	1804～2503mm	263kg以下	0.098 1/s 以下	81.5N・m以下
2224～2623mm	2504～3003mm	315kg以下	0.092 1/s 以下	100.0N・m以下
2224～2623mm	3004～4003mm	420kg以下	0.075 1/s 以下	125.4N・m以下
2624～3023mm	1804～2503mm	303kg以下	0.083 1/s 以下	91.0N・m以下
2624～3023mm	2504～3003mm	363kg以下	0.075 1/s 以下	100.0N・m以下
2624～3023mm	3004～4003mm	484kg以下	0.060 1/s 以下	125.4N・m以下
3024～3084mm	1804～2003mm	283kg以下	0.068 1/s 以下	100.0N・m以下
3024～3084mm	2004～3003mm	424kg以下	0.060 1/s 以下	125.4N・m以下

4. 鋼製開き戸部の主構成材料：

申請仕様の鋼製開き戸部の主構成材料を表7に示す。

表7 申請仕様の鋼製開き戸部の主構成材料

(単位：mm)

項目	申請仕様
上 枠	溶融亜鉛めっき鋼板 (厚さ1.6) JIS G 3302
下 枠	ステンレス (厚さ1.5) SUS304 JIS G 4305
縦 枠	溶融亜鉛めっき鋼板 (厚さ1.6) JIS G 3302
表面材	溶融亜鉛めっき鋼板 (厚さ1.6) JIS G 3302
力 骨	溶融亜鉛めっき鋼板 (厚さ2.3) JIS G 3302
中 骨	溶融亜鉛めっき鋼板 (厚さ1.6) JIS G 3302

5. 鋼製開き戸部の副構成材料：

申請仕様の鋼製開き戸部の副構成材料を表8に示す。

表8 申請仕様の開き戸部の副構成材料

(単位：mm)

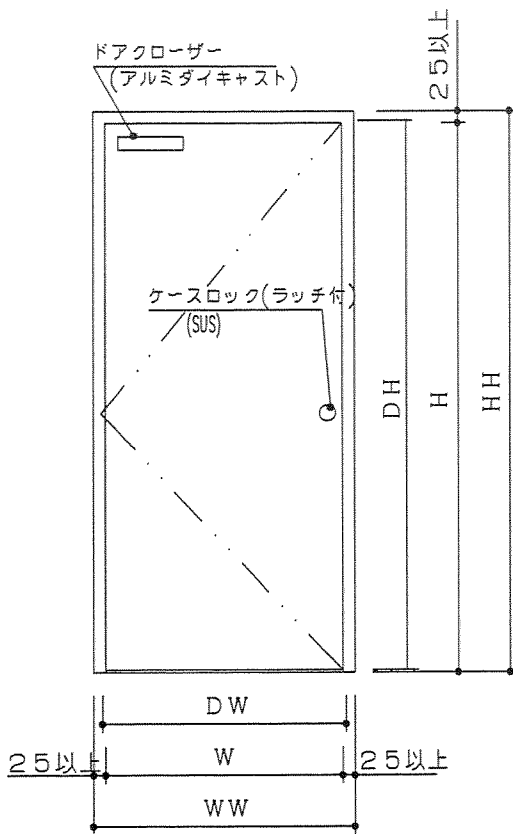
項目	申請仕様
アンカー	溶融亜鉛めっき鋼板 (厚さ2.3) JIS G 3302 ピッチ：上下600以下、縦600以下
錠 前	鋼、ステンレス鋼、等 規格：ケースロック (ラッチ付き)
丁 番	ステンレス
ピボットヒンジ	ステンレスカバー付 鋳鉄
ヒンジクローザー (丁番型)	鋳鉄
ヒンジクローザー (フロア型)	鋳鉄
ドアクローザー	アルミダイキャスト 規格：ストッパーなし
ドアクローザー取付用 補強板	鋼、ステンレス鋼、等
自動フランス落とし	ステンレス等 規格：両開きに適用
閉鎖順位調整器	ステンレス等 規格：両開きに適用
気密材	EPDMまたはクロロプレンゴム

ドアクローザーの開放力は、開き戸の先端 (避難用子扉がある場合は子扉の先端) 部分で、50N以下とする。

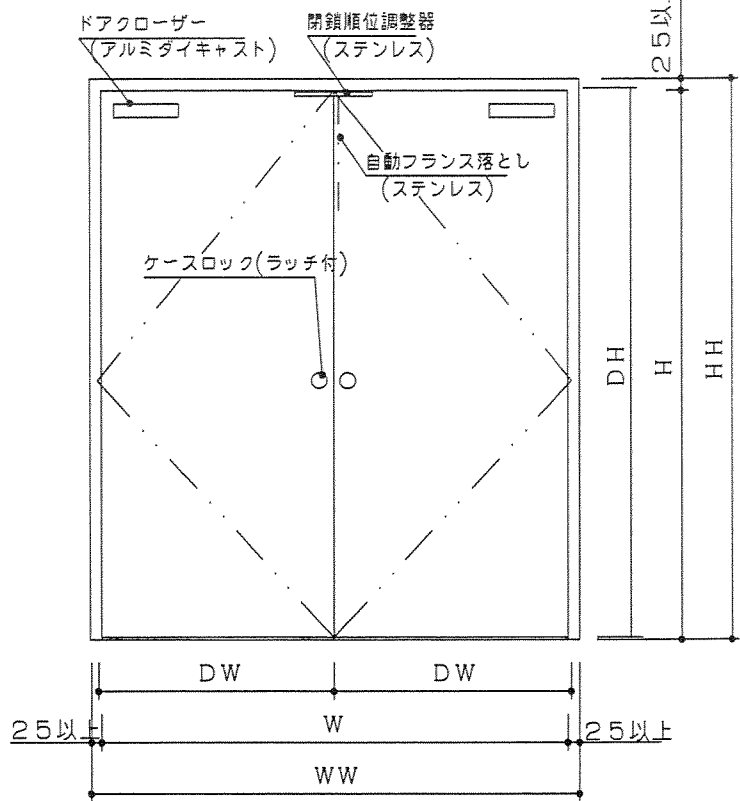
6. 申請仕様の構造説明図：

開き戸の申請仕様の構造説明図を図6～図17に示す。

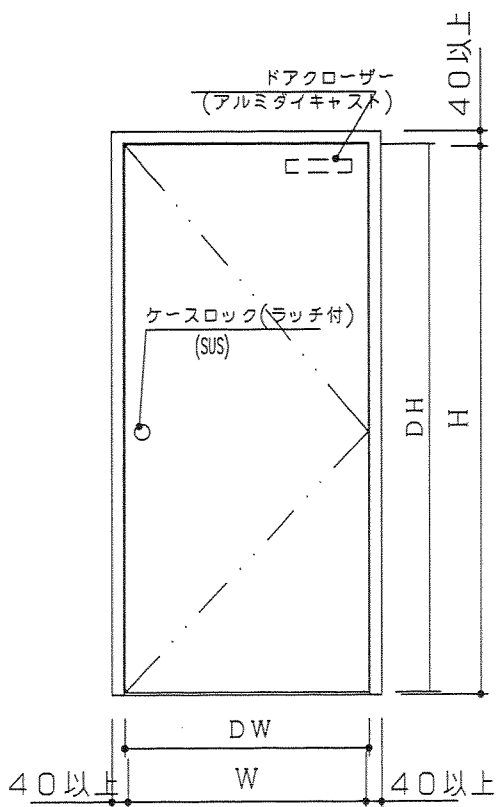
単位 mm



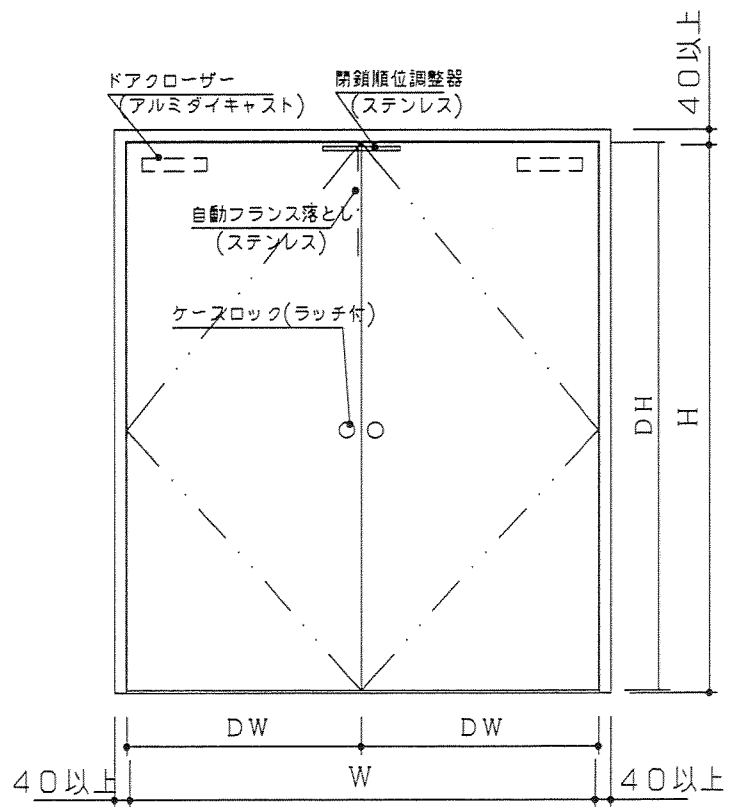
室内側立面図（片開き）



室内側立面図（両開き）

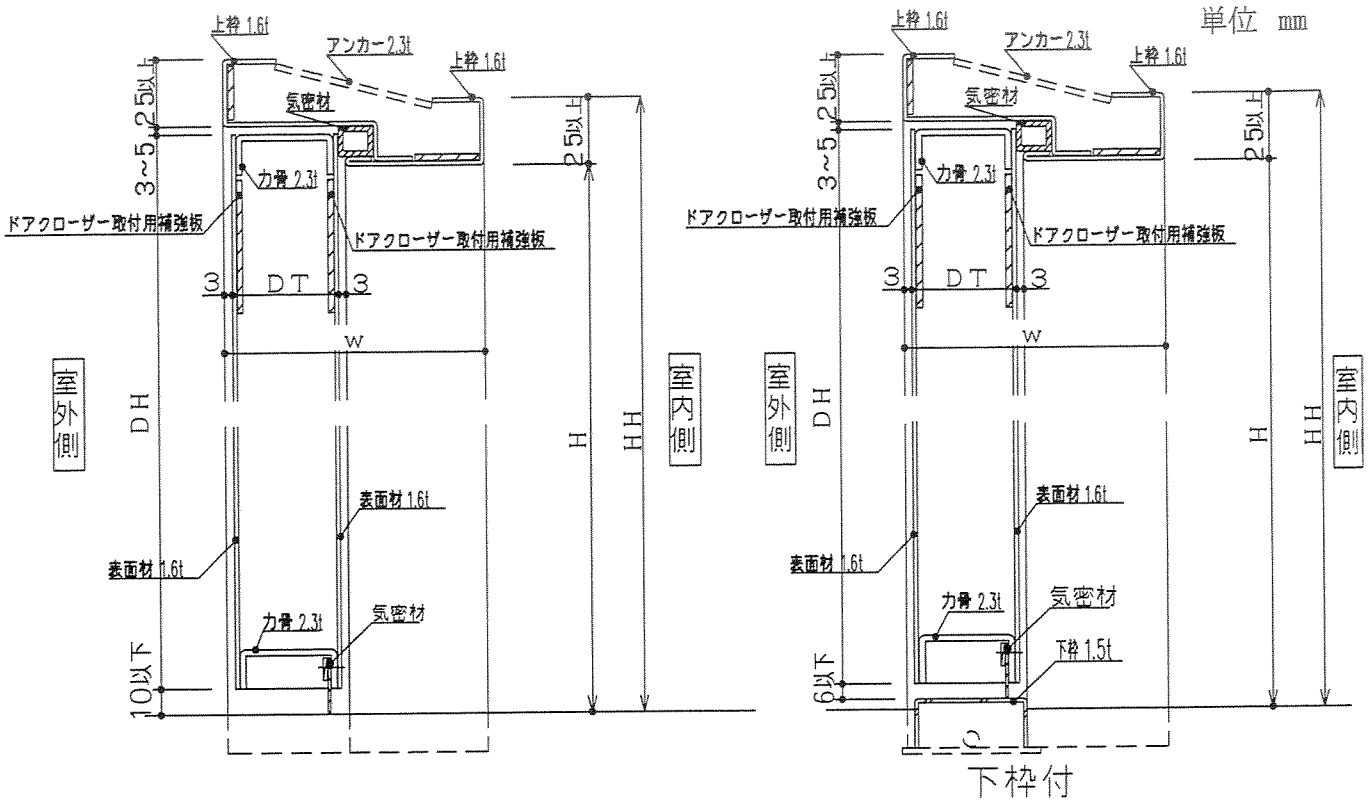


室外側立面図（片開き）

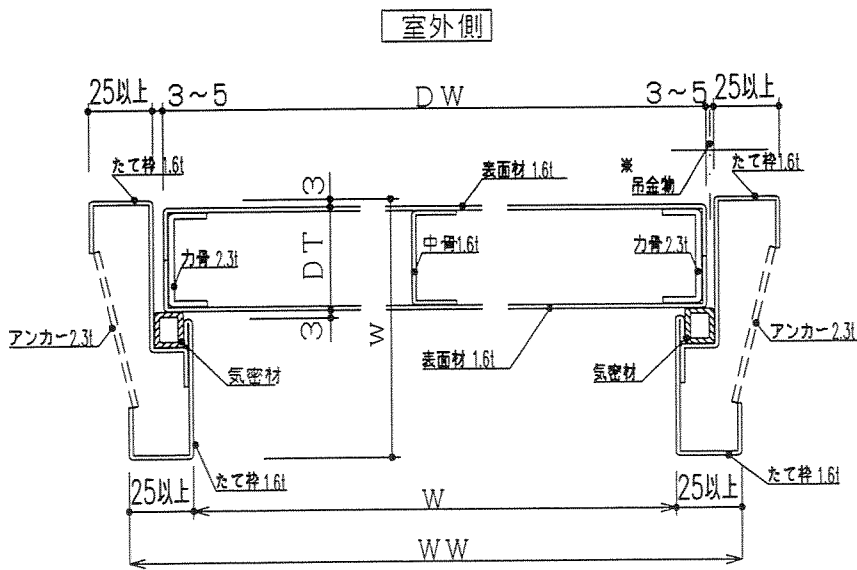


室外側立面図（両開き）

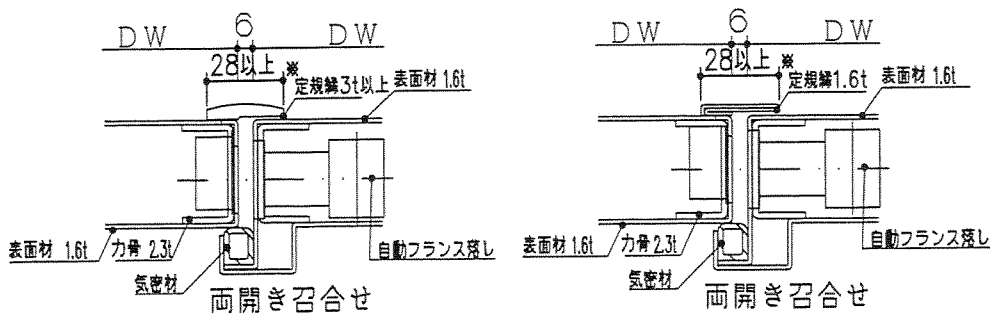
図6 構造説明図(常時閉鎖 片開き、両開き)



鉛直断面図

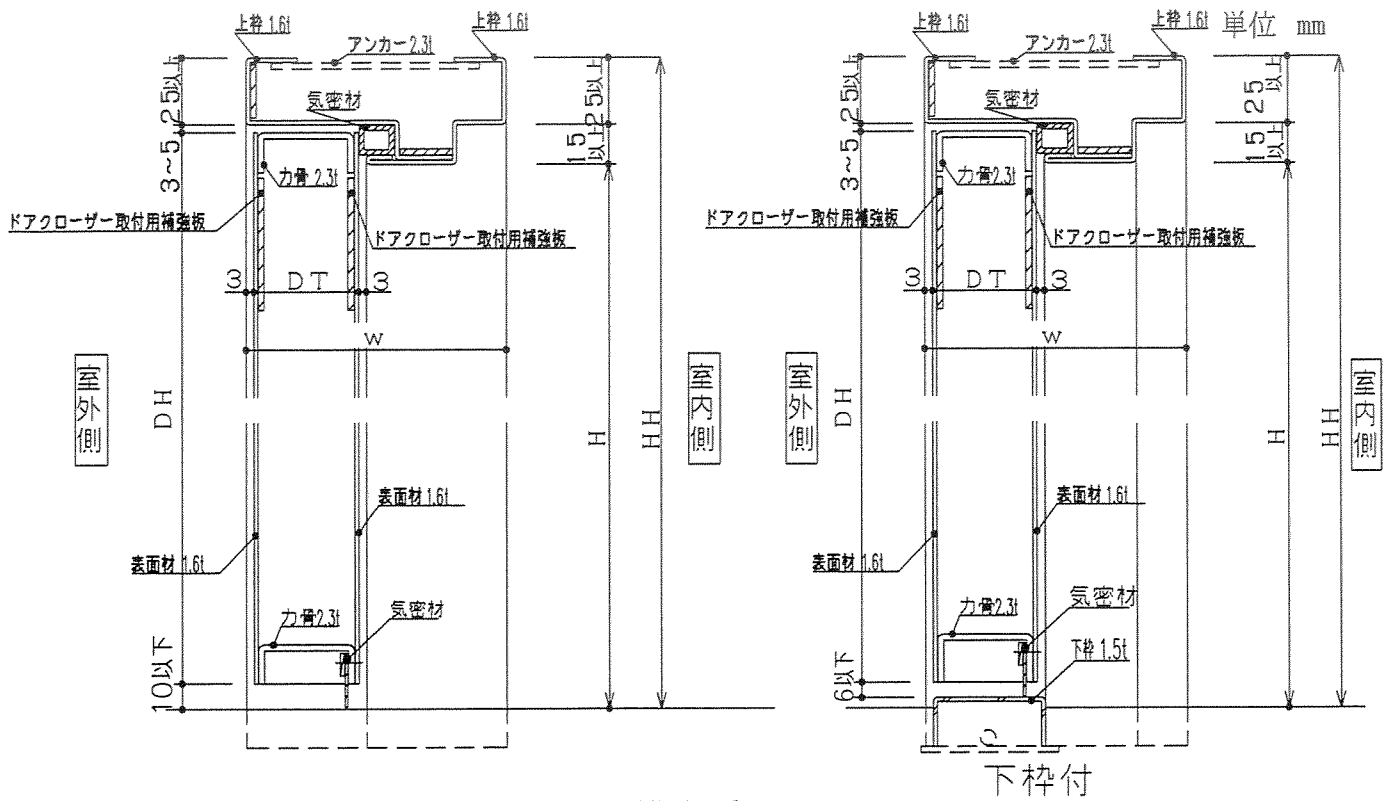


室内側
水平断面図

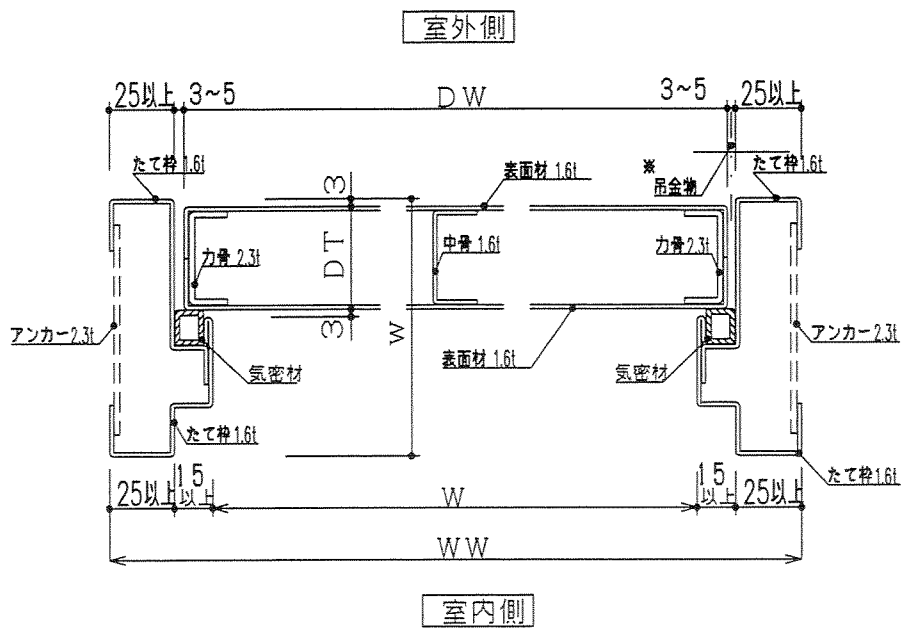


※評価対象外

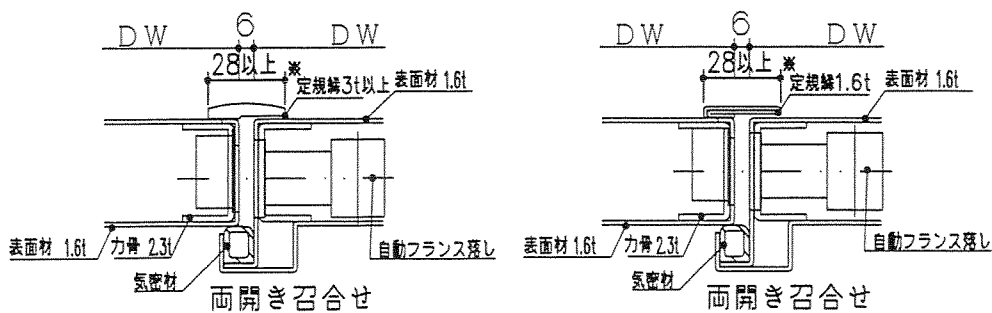
図7 構造説明図(常時閉鎖 片開き、両開き)



鉛直断面図



水平断面図



※評価対象外

図8 構造説明図(常時閉鎖 片開き、両開き)

単位 mm

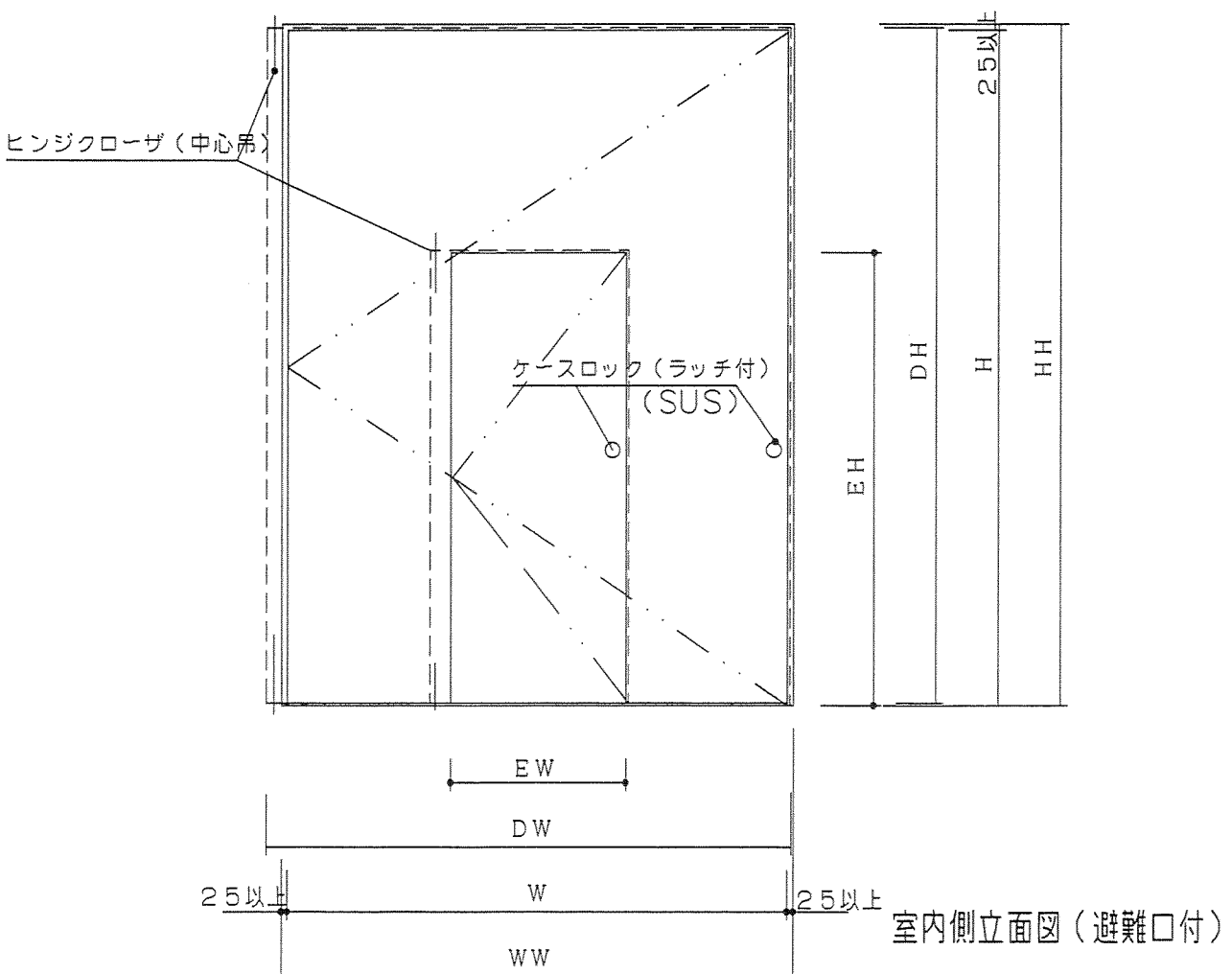
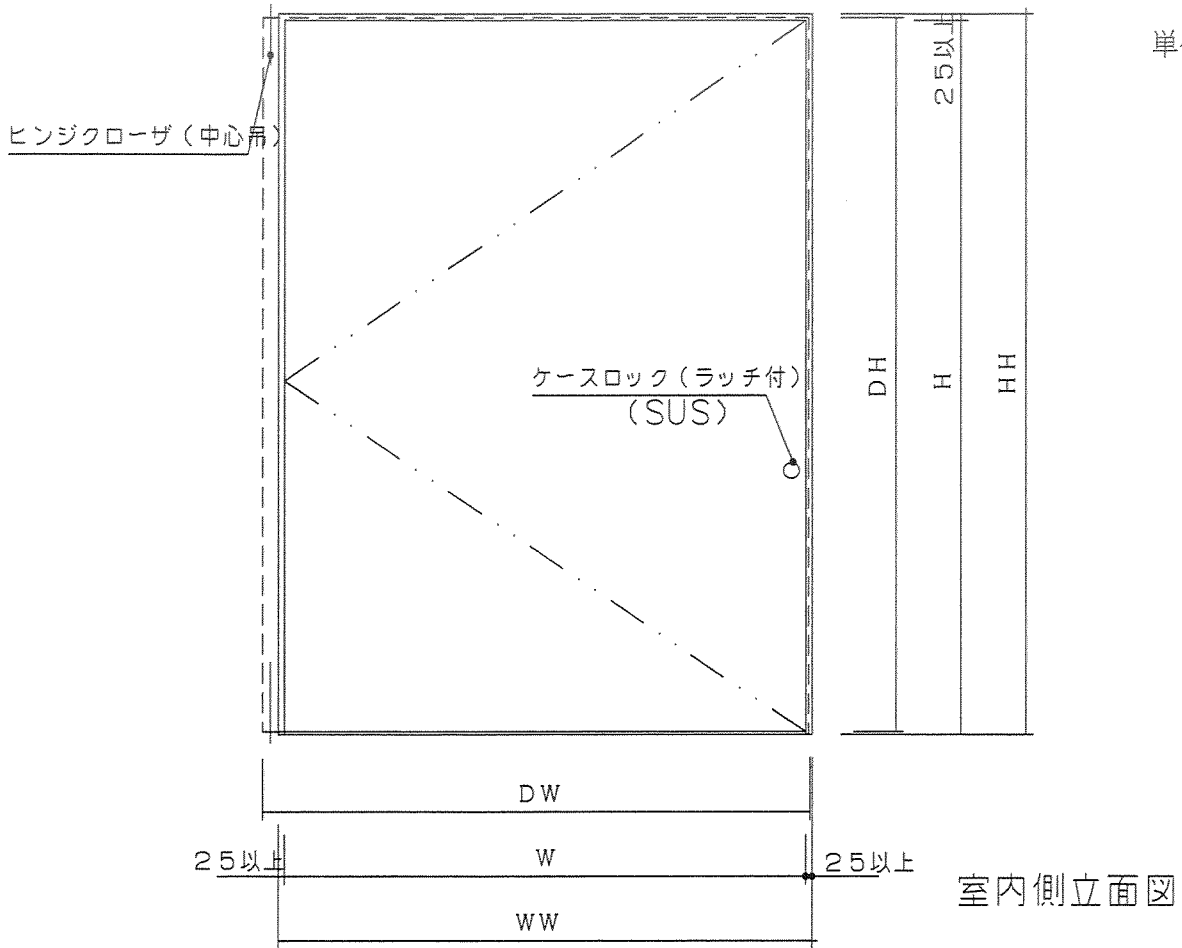
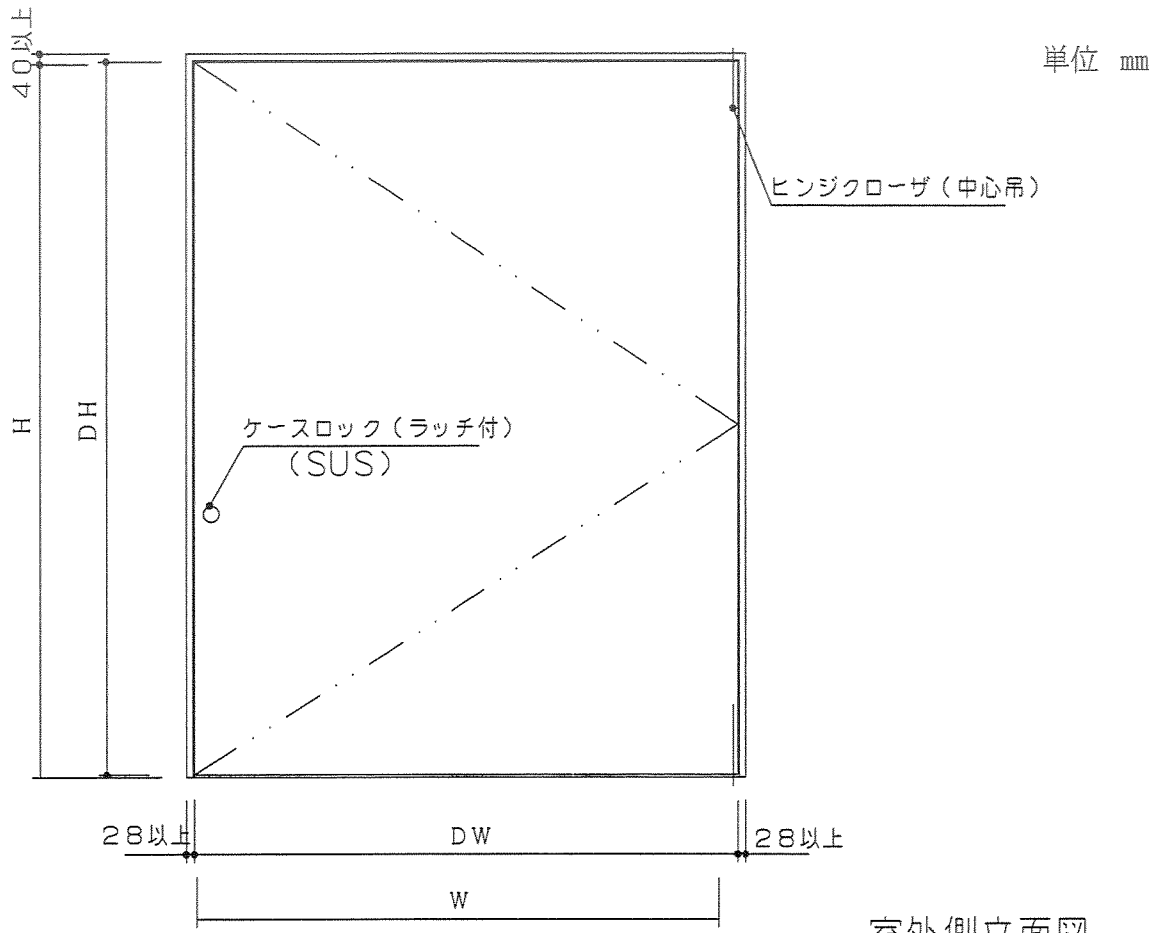
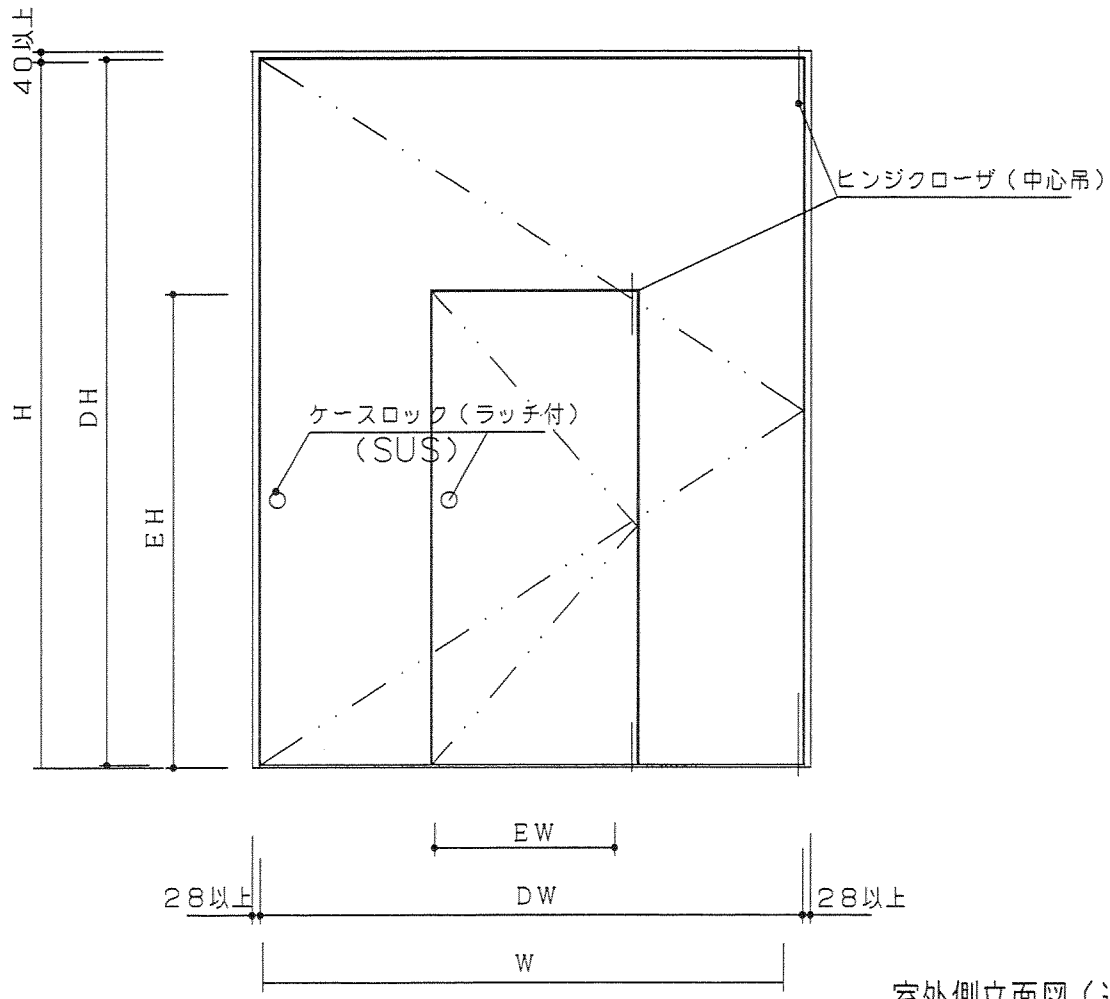


図9 構造説明図(随時閉鎖 片開き)

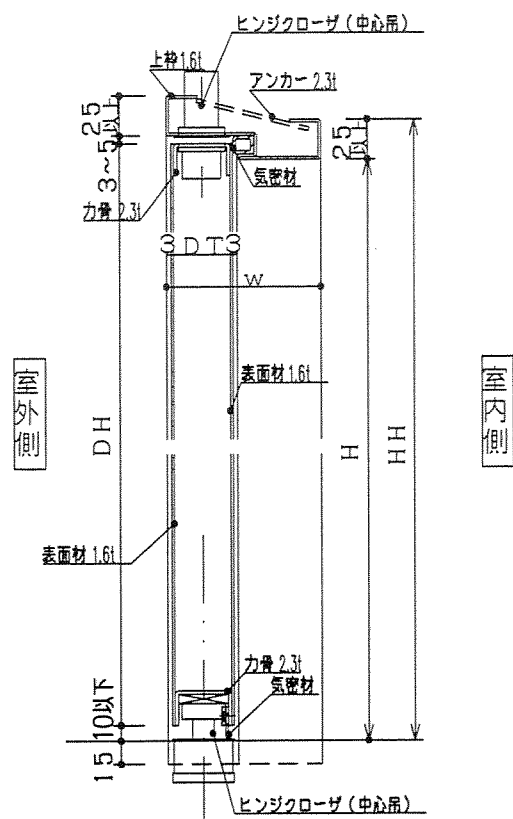


室外側立面図

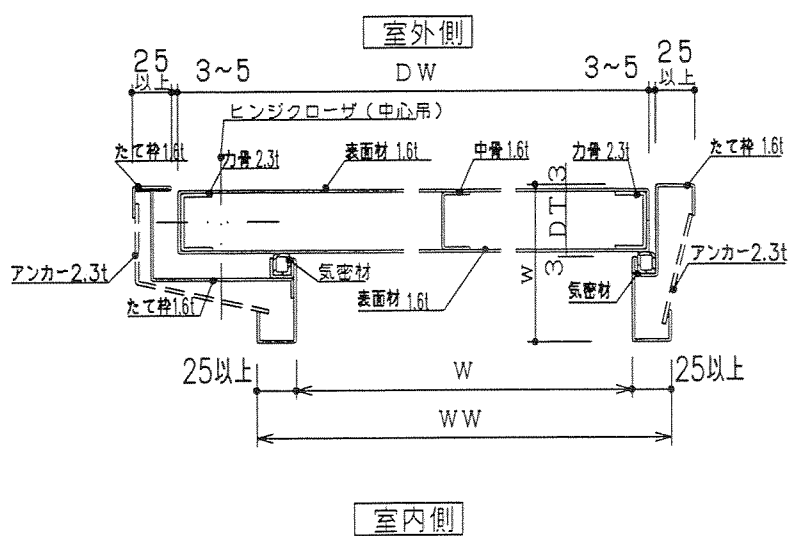


室外側立面図 (避難口付)

図10 構造説明図(随時閉鎖 片開き)

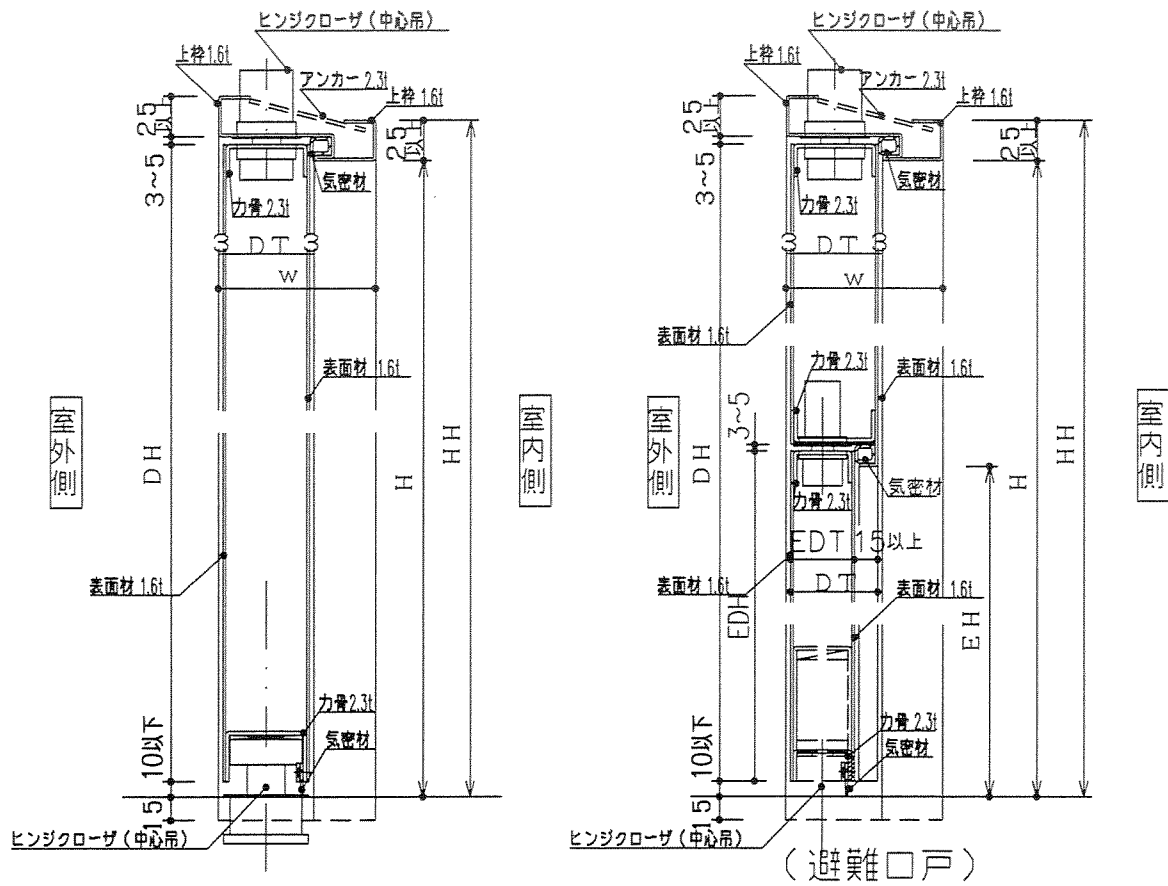


鉛直断面図

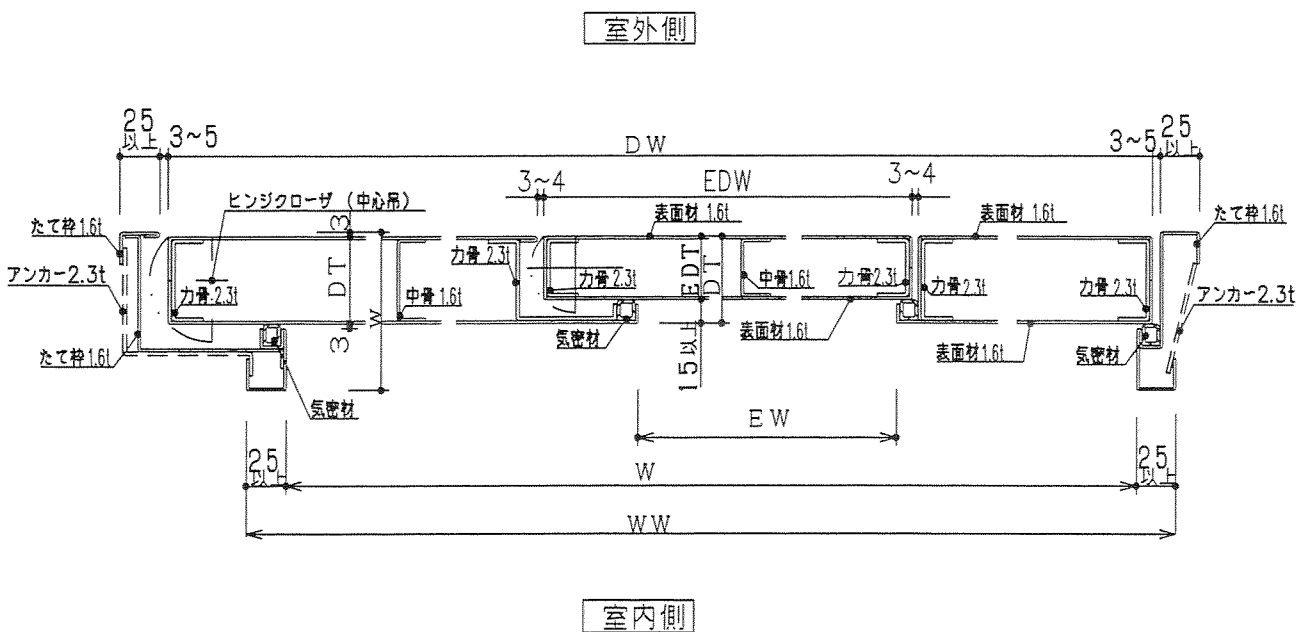


水平断面図

図11 構造説明図(随時閉鎖 片開き 避難口無)

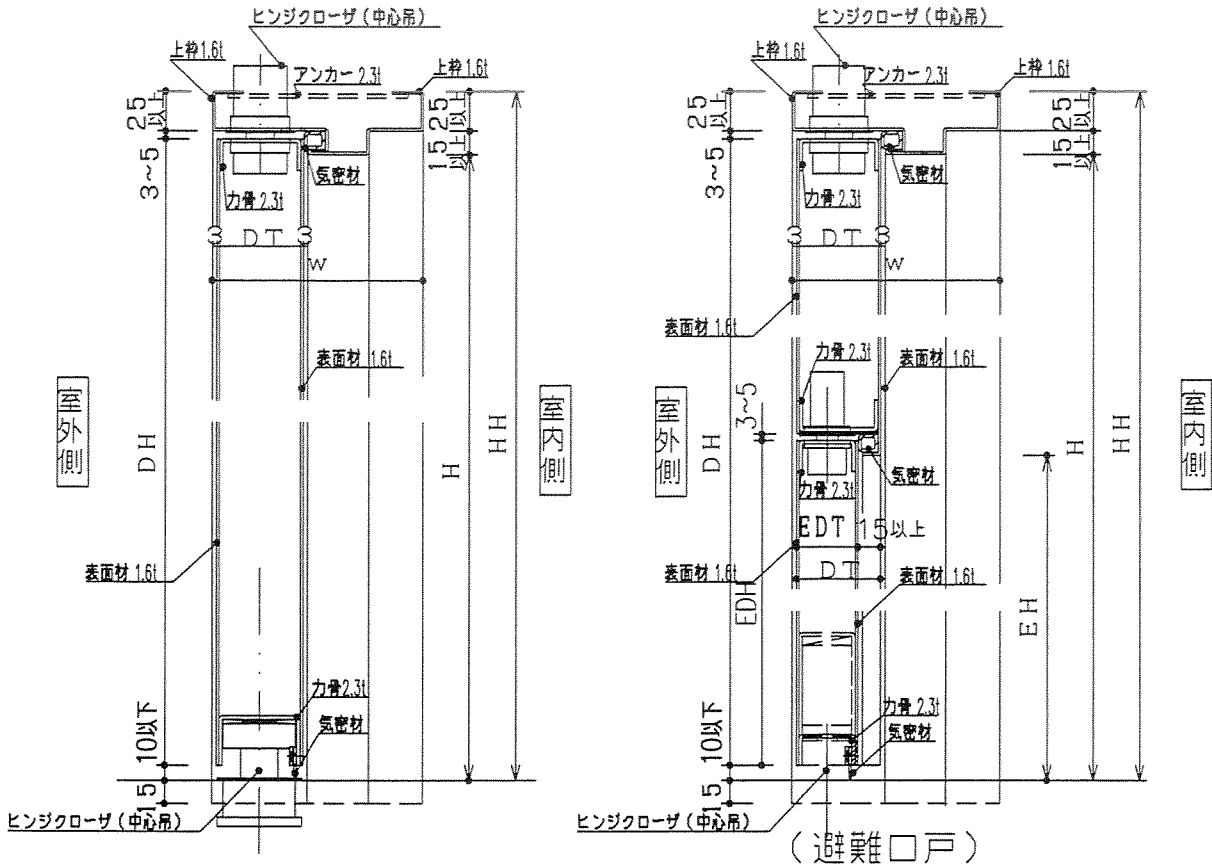


鉛直断面図



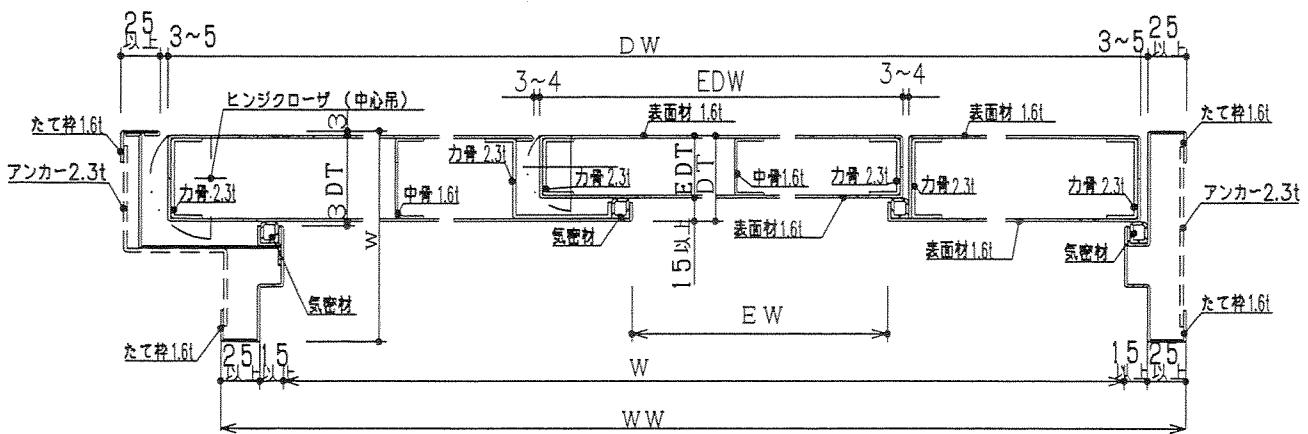
水平断面図

図12 構造説明図(随時閉鎖 片開き 避難口付)



鉛直断面図

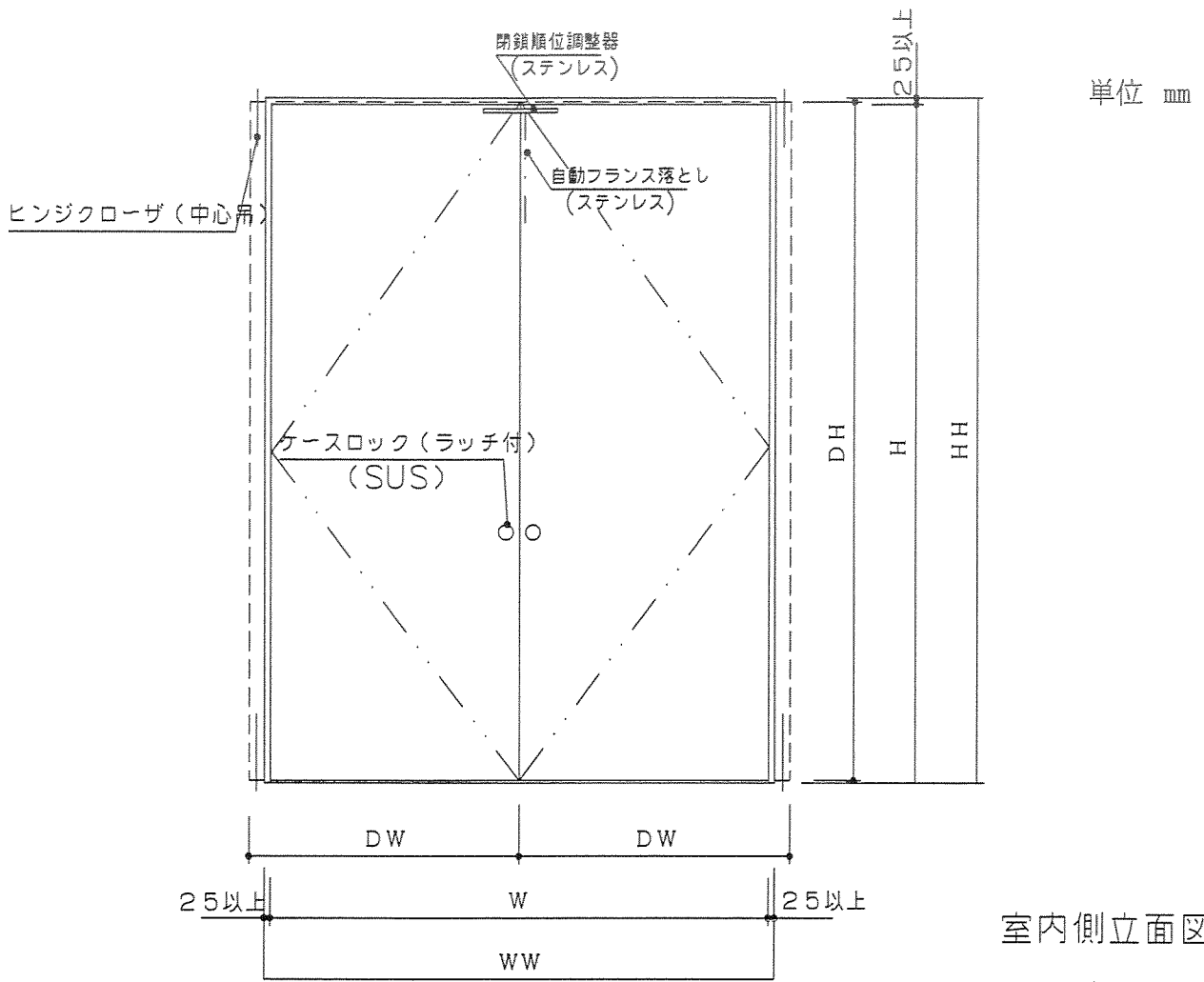
室外側



室内側

水平断面図

図13 構造説明図(随時閉鎖 片開き 避難口付)



室内側立面図

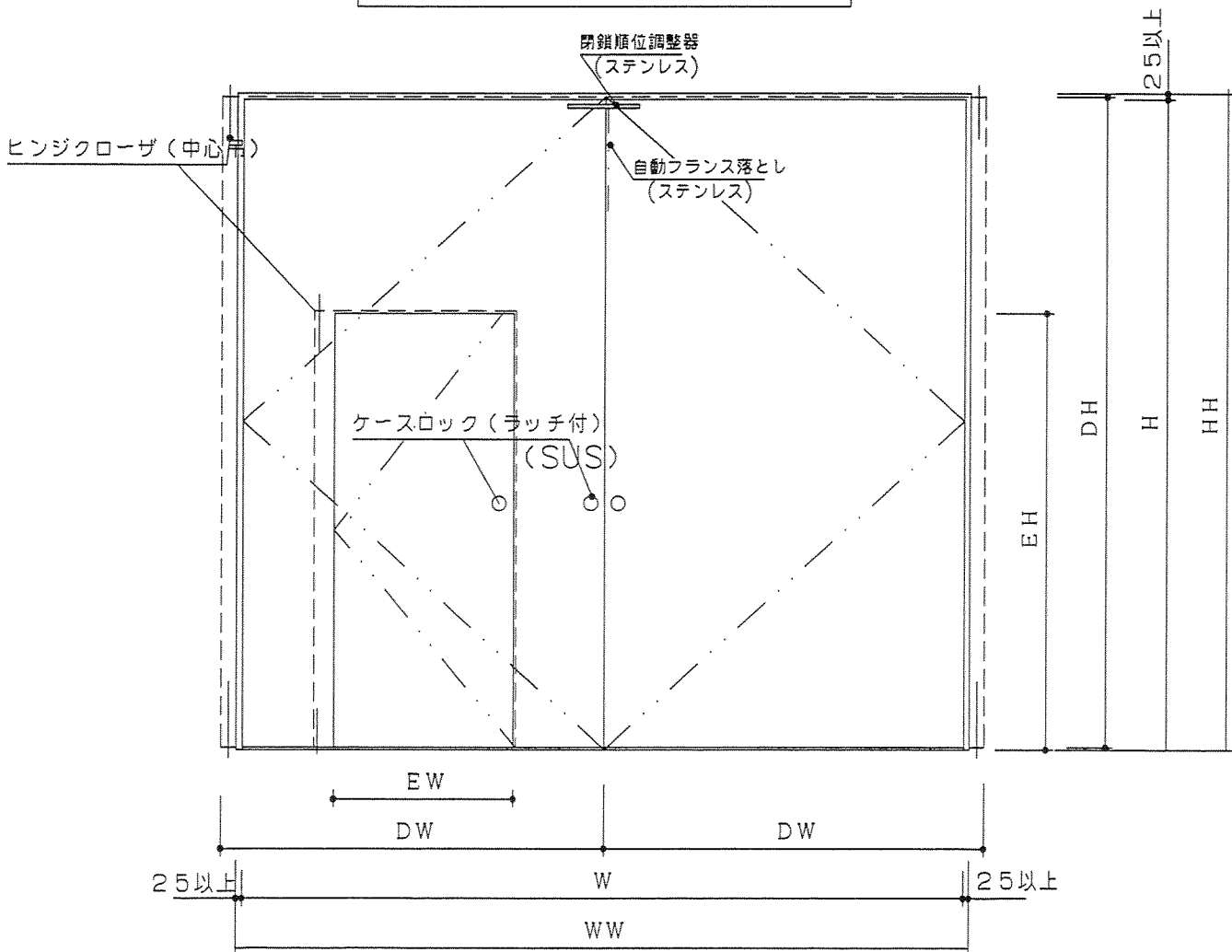
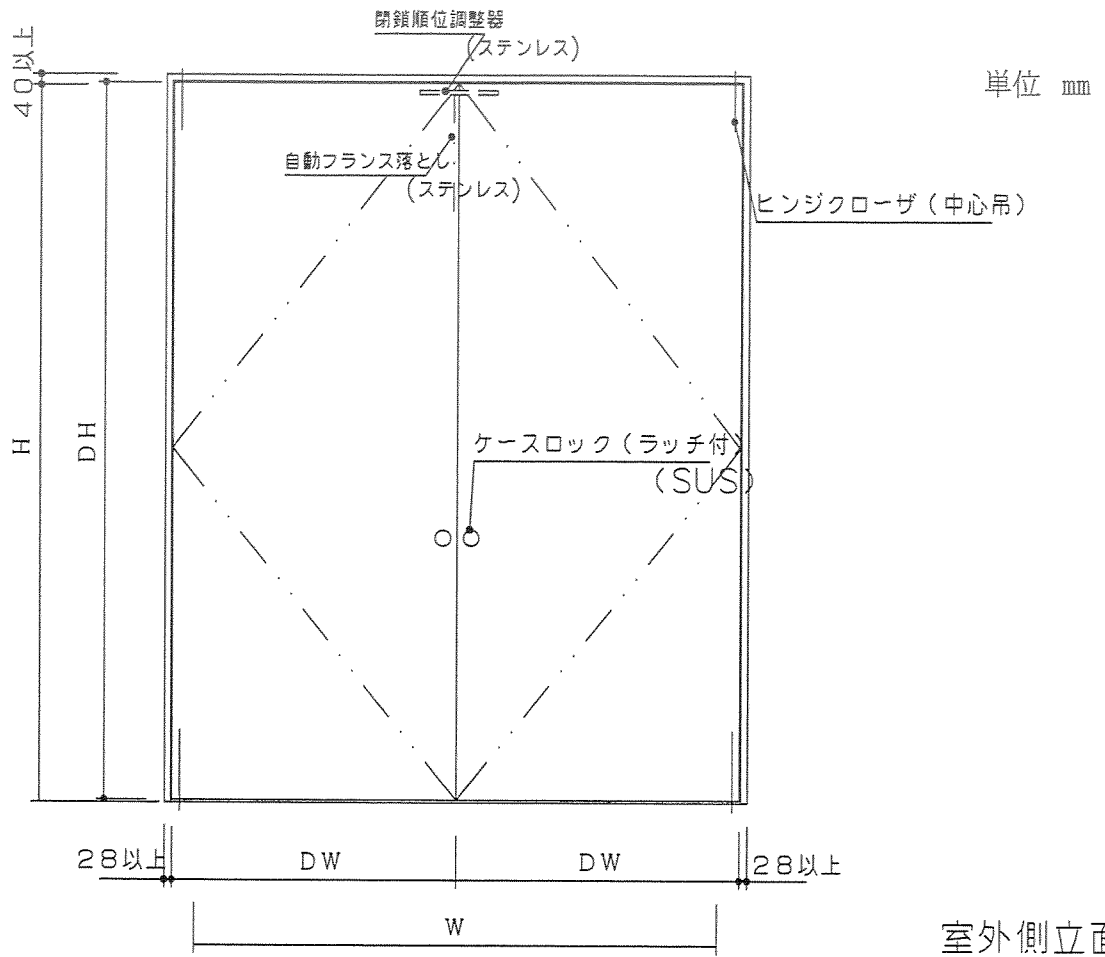
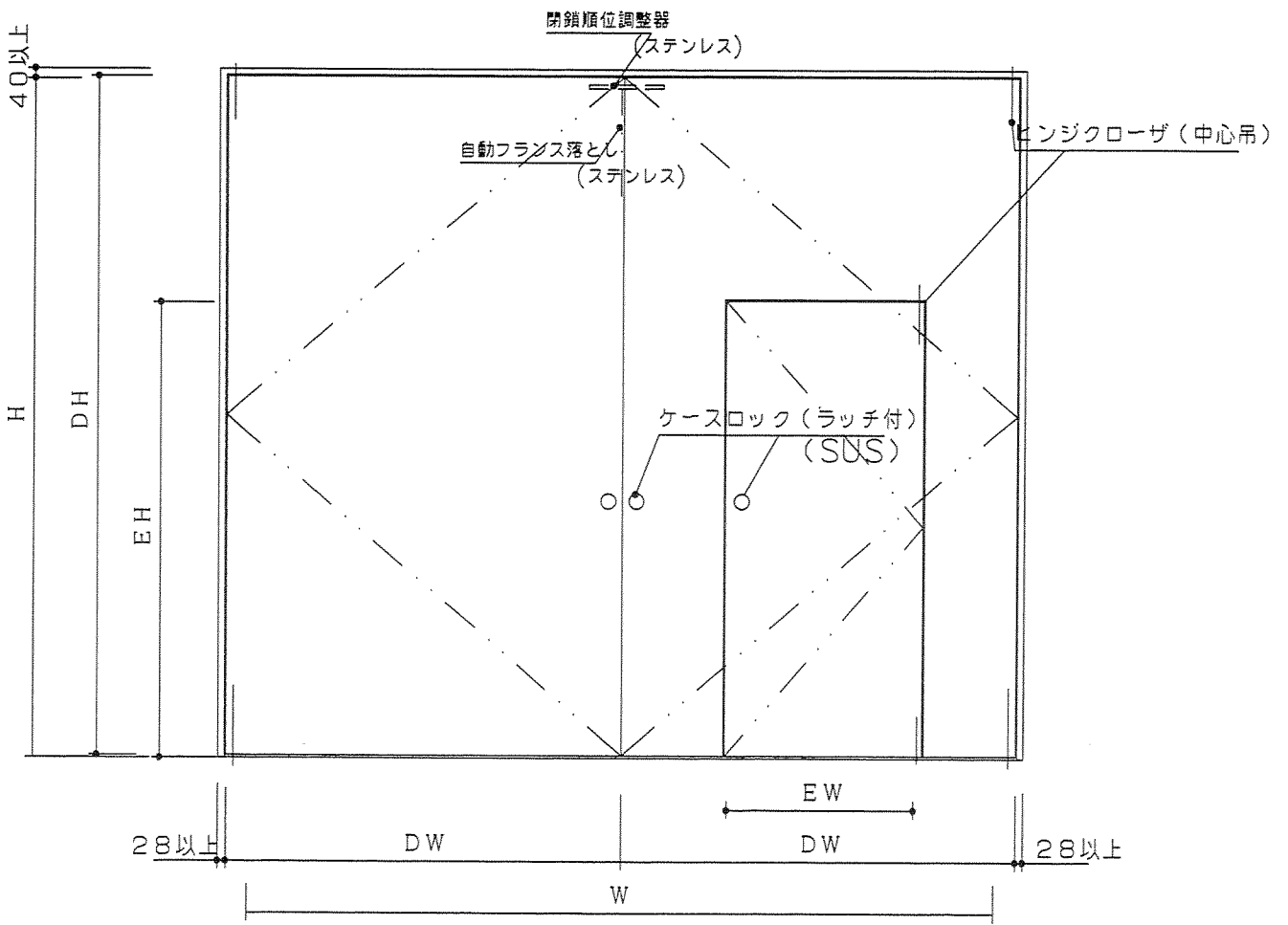


図14 構造説明図(随時閉鎖 両開き) 室内側立面図 (避難口付)

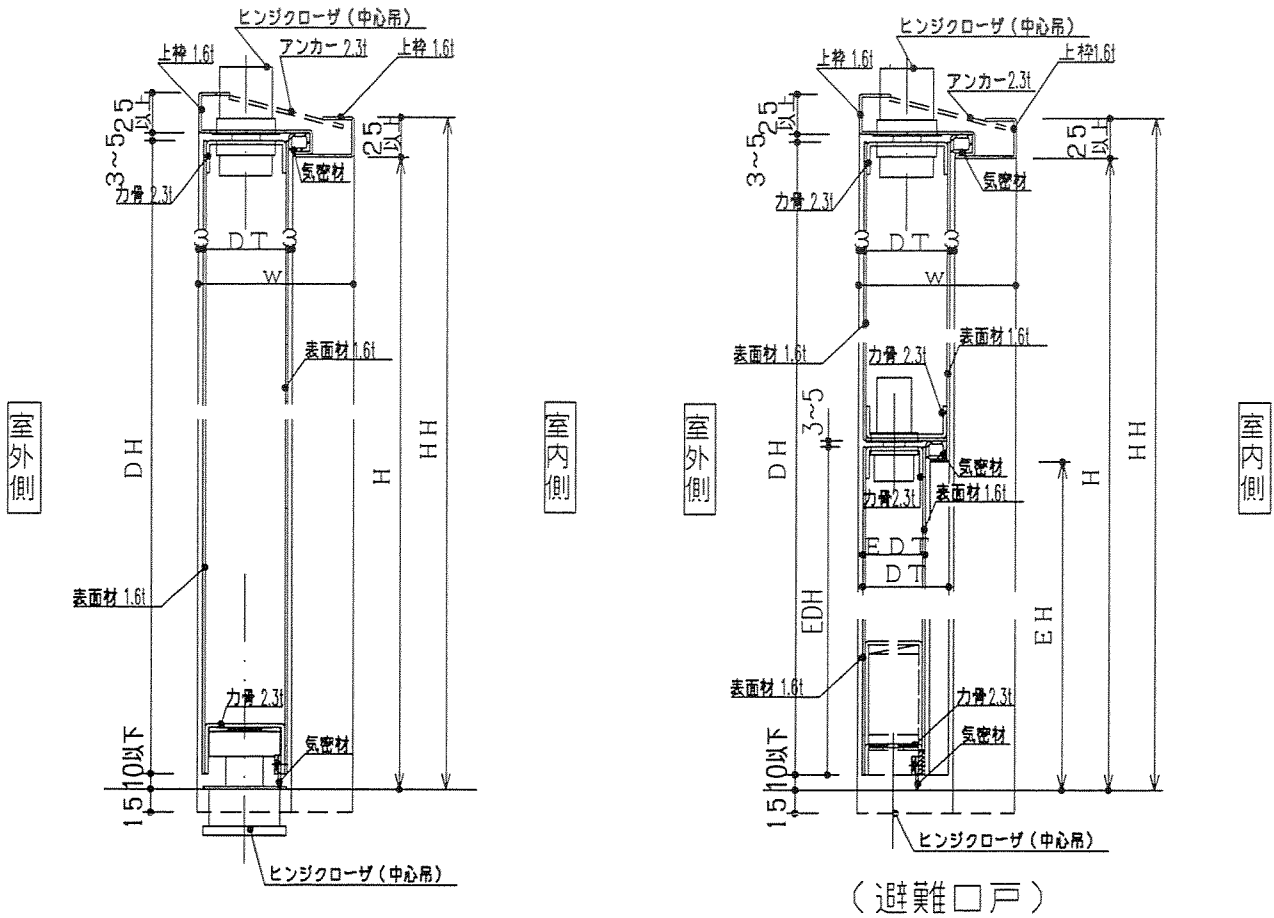


室外側立面図

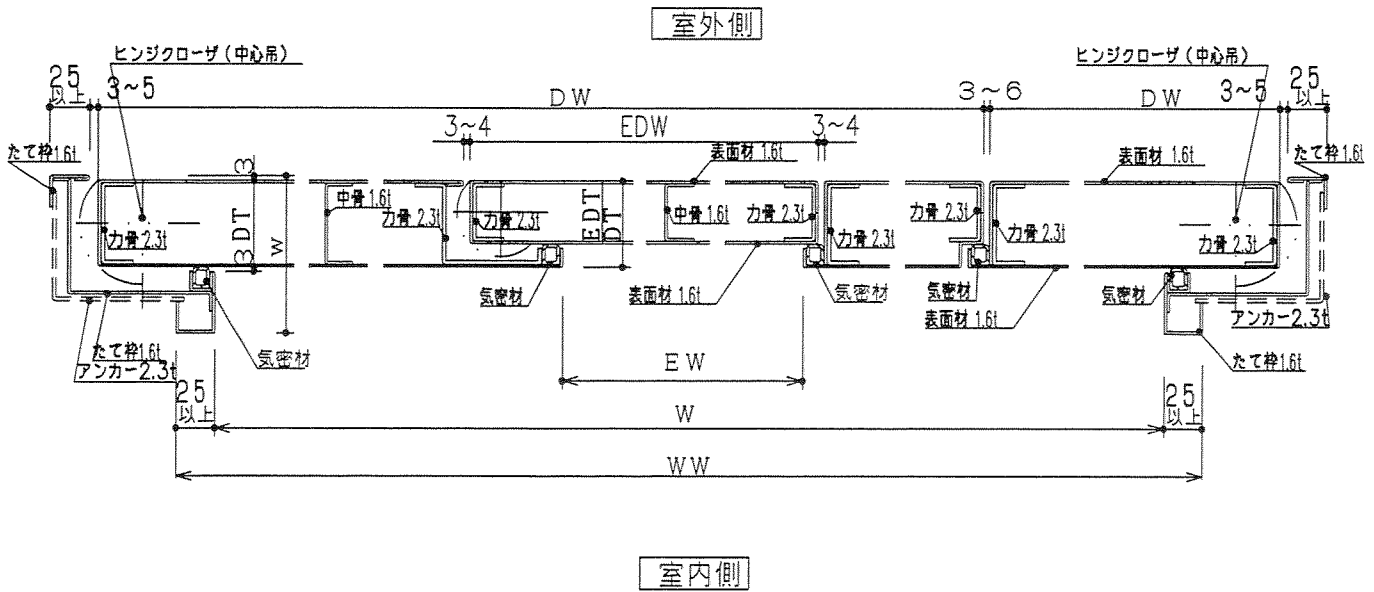


室外側立面図 (避難口付)

図15 構造説明図(随時閉鎖 両開き)



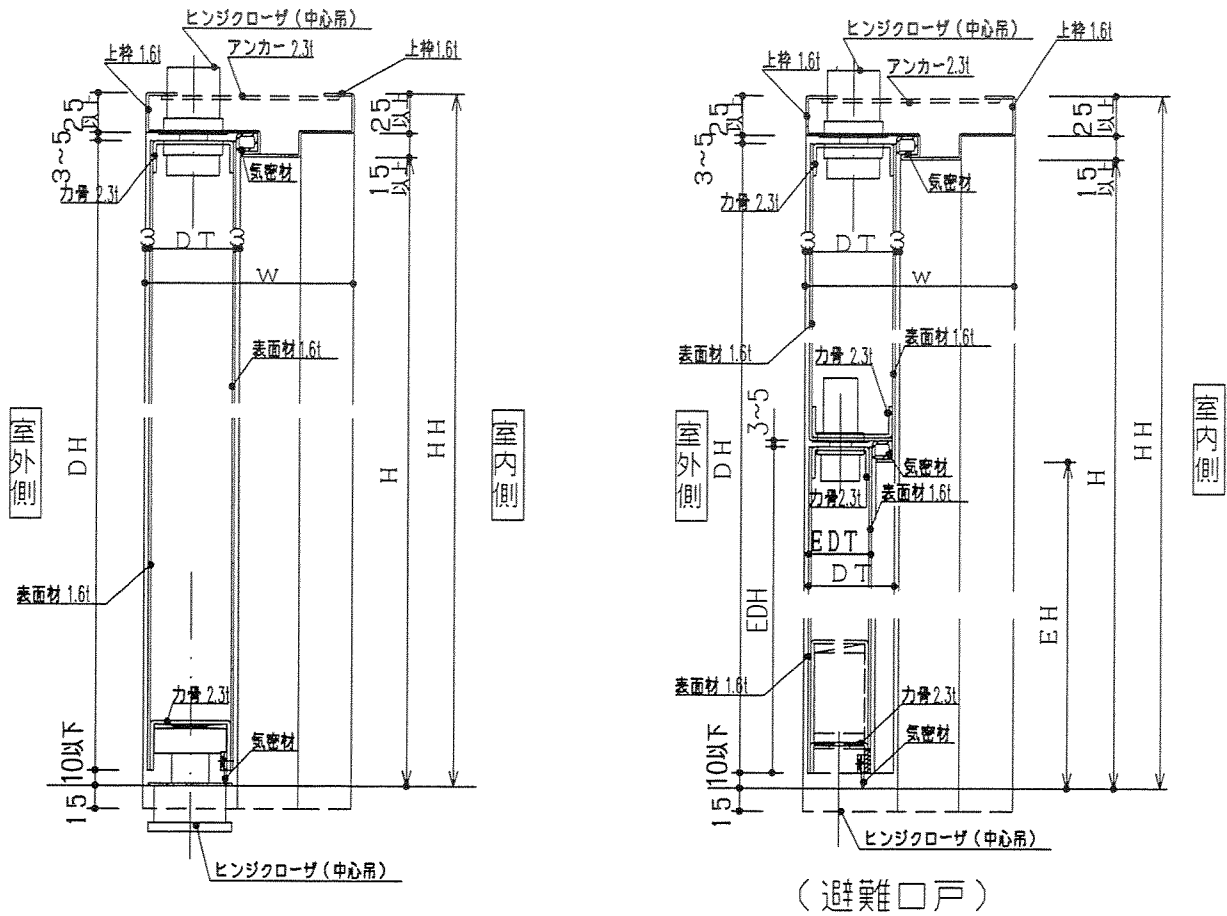
鉛直断面図



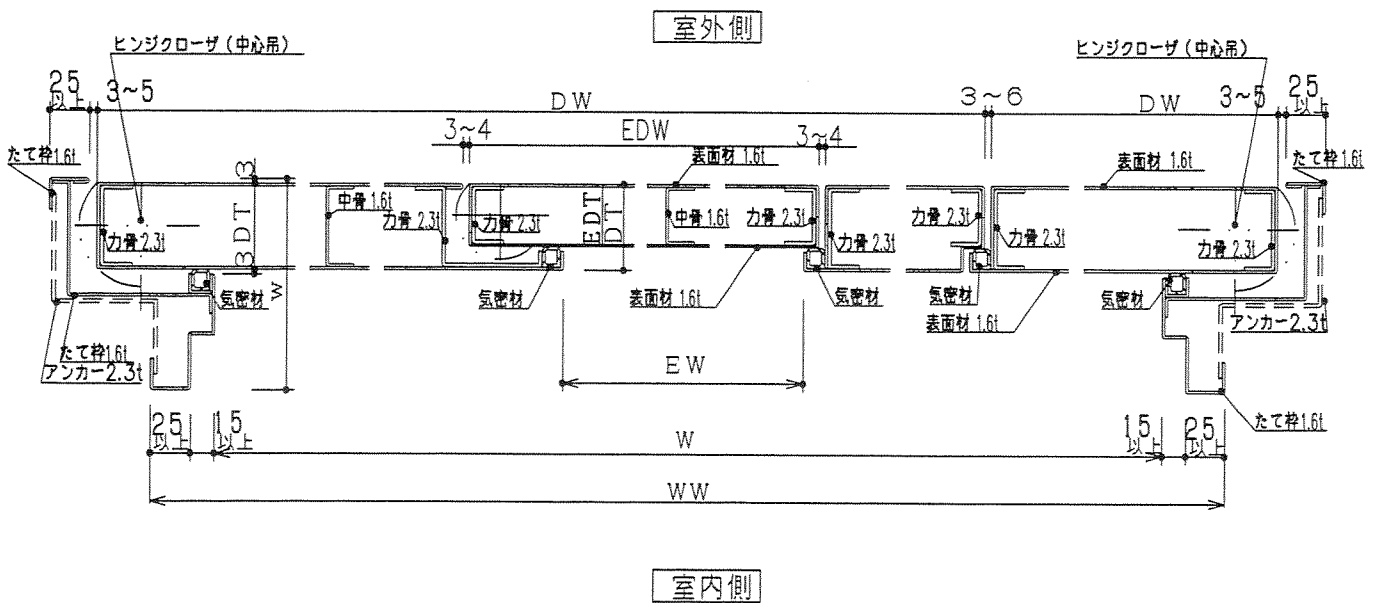
水平断面図

図16 構造説明図(随時閉鎖 両開き)

単位 mm



鉛直断面図



水平断面図

図17 構造説明図 (随時閉鎖 両開き)